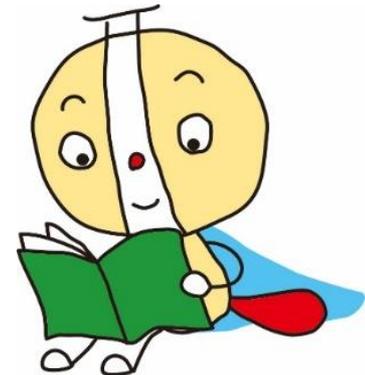


令和3年度 西成区運営方針 【概要版】



スーパーボンボコジャガビー
にしなりくん

令和3年度 西成区運営方針

西成区の目標（何をめざすのか）

「すべては子どもたちのために」をキャッチフレーズに、未来を担う子どもたちが健やかに育ち、だれもが笑顔にあふれ、安心安全に暮らすことができるまちの実現をめざす。

西成区の使命（どのような役割を担うのか）

地域住民等との連携・協働のもと、区長自らの権限・責任において、地域の実情や特性に即した施策や支援を行う。また、多様な区民の意見やニーズを把握し、区政への区民の参画など、地域と一体となって様々な施策を展開していく。

令和3年度 西成区運営の基本的な考え方（区長の方針）

西成区は、少子高齢化やあいりん地域などの様々な課題を抱えている。それらを解決するため「1 子どもに寄り添った支援と子育てしやすいと実感できるまち」「2 活気にあふれ、誰もが歩きたくなる楽しいまち、豊かに自分らしく健康に生活できるまち」「3 災害に強いまち、犯罪が起こりにくく、安心安全に暮らせるまち」「4 官と民が協働して取り組み、あいりん地域が抱える様々な課題を解決し、安心して暮らすことができるまち」に向けた施策や支援などを重点的に取り組んでいく。西成特区構想については、引き続き人的資源や地域資源を活かして、にぎわい創出と再チャレンジ可能なまちの実現をめざした取組を推進する。さらに、若者等の居住促進や子育て支援の充実、重大な児童虐待ゼロに向けて区の特성에応じた取組など、一層の対策を進めていく。

また、区民にとって身近で親しみやすい区政運営を推進することにより、区民から信頼される区役所づくりをめざす。

なお、各経営課題における具体的取組については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら進めていく。

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題	戦略	番号	具体的取組【令和3年度】	区政会議各部会	
【経営課題1】 子どもが育つ環境の充実	子どもの「育ち」を支援	1-1-1	プレーパーク事業	教育部会	
		1-1-2	こども食堂支援事業		
		1-1-3	障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業		
	子どもの「学び」を支援	1-2-1	西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)		
		1-2-2	基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)		
		1-2-3	西成区こども生活・まなびサポート事業		
【経営課題2】 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり	地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化	2-1-1	地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業	西成特区構想部会	
		2-1-2	新今宮エリアブランド向上事業	西成特区構想部会／ 情報発信部会	
		2-1-3	西成区魅力発信事業		
	地域活動の支援強化	2-2-1	地域コミュニティ支援事業	情報発信部会	
		2-2-2	緑化推進事業		
	地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり	2-3-1	西成版サービスハブ構築・運営事業	西成特区構想部会	
		2-3-2	西成区地域福祉計画推進事業		
		2-3-3	地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業		
	人権尊重のまちづくり	2-4-1	人権尊重のまちづくり	情報発信部会	
	【経営課題3】 防災・防犯・安全対策	コミュニティ防災力の強化	3-1-1		地域防災活動事業－地区防災計画を活用した地域防災力の向上－
3-1-2			地域防災活動事業－地域防災の担い手の発掘・育成－		
防犯・安全対策の推進		3-2-1	防犯対策事業		
		3-2-2	自転車等安全利用啓発事業		
空家等対策の推進		3-3-1	空家等対策推進事業		
【経営課題4】 あいりん地域対策	あいりん地域環境対策	4-1-1	不法投棄対策		西成特区構想部会
		4-1-2	迷惑駐輪対策		
	あいりん地域を中心とした結核対策	4-2-1	結核患者の早期発見・早期治療		
		4-2-2	結核患者の支援の充実		

めざす成果及び戦略 子どもの「育ち」を支援

具体的取組1-1-1 プレーパーク事業

元決算額	12,207千円	2予算額	17,630千円	3予算額	12,308千円
------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
プレーパークの一日あたりの来場者数	平均120人以上

今年度の取組内容

- ・令和3年度から出張型開催を実施する。
- ＜場所＞もと津守小学校・幼稚園・区内各所
- ＜開催期間＞令和3年4月～令和4年3月
土日祝を中心に年間90日間程度
開催時間：10～17時（冬期は10～16時30分）
- ＜実施内容＞運動場を利用し「遊び場」、幼稚園舎を活用し「学び場」、
「たまり場」を実施する。
出張型開催により区内各地域でも開催する。

めざす成果及び戦略 子どもの「育ち」を支援

具体的取組1-1-2 こども食堂支援事業

元決算額	3,276千円	2 予算額	4,958千円	3 予算額	1,353千円
------	---------	-------	---------	-------	---------

目標	目標値
区内で開設している運営件数すべてが継続されている状態をめざす	区内14カ所

今年度の取組内容

- ・区内でこども食堂を既に運営している団体等に対し、こども食堂の安定した運営ができるよう補助金により支援する。こども食堂の運営費用について、補助対象経費の1/2を補助する。
- ・こども青少年局実施の「大阪市こどもの見守り強化事業」と連携し、見守り機能を有するこども食堂の充実を図る。
- ・運営補助：事業実施に必要な経費（賃料・光熱水費・広報関係費用等）を補助
1団体あたり300,000円（上限）

めざす成果及び戦略 子どもの「育ち」を支援

具体的取組1-1-3 障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業

元決算額	— 円	2 予算額	8,079千円	3 予算額	7,342千円
------	-----	-------	---------	-------	---------

目標	目標値
障がいがある子ども・親のうち課題を抱えている家庭で、関係機関につなぐべきかを検討	140人

今年度の取組内容

区役所と関わっていない可能性のある精神疾患や知的障がいがある子どもまたは親の全数について現状を把握するとともに、専門職員が迅速に対応することにより、親子が穏やかに生活できるよう適切な助言を行い、必要に応じて支援機関につなぐ。

精神疾患や知的障がいがある子どもの親に対する、子どもの特性を理解してもらうための連続講座や、障害がある親がしんどい時に、親の負担軽減と子どもの見守りのための保育所等への送迎支援等も実施し、家庭に引きこもらないような取り組みを合わせて実施する。

- ・専門職員による家庭訪問
- ・言語聴覚士による専門相談
- ・保育所等への送迎支援
- ・助産師による専門的家庭訪問支援事業の対象を3ヶ月から1歳までに延長
- ・子育てが難しいと感じる親や発達障がいの子を育てる親を対象に連続講座を開催

めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

具体的取組1-2-1 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)

元決算額	116千円	2 予算額	186千円	3 予算額	186千円
------	-------	-------	-------	-------	-------

目標	目標値
参加者にアンケートを実施し、基礎学力の向上及び学習習慣の定着を測る項目について肯定的な意見	70%以上

今年度の取組内容

区内中学生を対象に、塾代助成事業が利用可能な事業者による課外授業を実施し、中学生の基礎学力アップと放課後の居場所づくりをめざす。

- ・実施場所 区内3ヶ所(鶴見橋中学校、玉出老人憩いの家、たちばな会館)
- ・各実施場所で週2回課外授業を実施。
- ・参加者 90人以上(30人×3ヶ所)

めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

具体的取組1-2-2 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)

元決算額	8,312千円	2予算額	7,744千円	3予算額	7,744千円
------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
授業の初回と最終回にテストを行い、点数が上昇する児童の割合	70%以上

今年度の取組内容

区内の小学校3～6年生を対象に、夏休みや平日の放課後及び土曜日の時間を利用し、学力の基礎となる国語・算数を中心に集中的な学習支援を行う。
学習意欲を高め、基礎学力の向上や学習習慣の定着をめざす。

対象児童数：304名(3・4年生)、160名(5・6年生)

学習時間：45時間(3・4年生)、10時間(5・6年生)

めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

具体的取組1-2-3 西成区こども生活・まなびサポート事業

元決算額	24,768千円	2 予算額	69,679千円	3 予算額	65,593千円
------	----------	-------	----------	-------	----------

目標	目標値
学びの場への定着を目的とし、遅刻者数や不登校者数の改善	前年度より減少させる

今年度の取組内容

令和2年度から実施したこどもサポートネット事業によって決定される要支援者への支援方針に基づき、各学校に配置するこども生活・まなびサポーターが児童生徒の課題解決へ向け、「電話や家庭訪問による登校支援」等の学びの場へ定着するための寄り添い支援を行う。平成29、30年度は区内1中学校区、令和元年度は区内2中学校区、令和2年度からは区内全小中学校に拡充して実施しており、令和3年度についても引き続き区内全小中学校にて実施する。

・「こどもサポートネット事業」とは・・・すべての子どもたちの状況を把握した上で、必要な子どもたちを支援につなげていくことを目的とし、学校において、学校生活や家庭生活・家庭環境、経済的困窮等の課題を抱えた子ども及び子育て世帯を発見し、区役所(こどもサポートネット推進員・SSW)と連携して保健福祉の支援制度や地域資源の適切な支援につなぎ、社会全体で総合的に支援する事業

めざす成果及び戦略 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化

具体的取組2-1-1 地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業

元決算額	14,263千円	2 予算額	17,977千円	3 予算額	10,777千円
------	----------	-------	----------	-------	----------

目標	目標値
地域ぐるみのエリアリノベーションプロジェクトに参加する施設・店舗数	30施設・店舗以上

今年度の取組内容

新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、にぎわい創出の取り組みが持続的に行われ、店舗等の繋がりづくりや、地域ぐるみの協力によるエリアリノベーションが推進できるような地域ネットワークの基盤構築をめざす。

西成区の特性に合った、多様な地域ぐるみのエリアリノベーションプロジェクトの創出を行い、2年間で発掘した店舗等を基本とした、宿泊施設・アパート・店舗等の参加による、地域連携を推進するプロジェクト等を支援するとともに、空き店舗等の改修費用についての一部補助制度を実施する。(補助件数1件)

めざす成果及び戦略 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化
具体的取組2-1-2 新今宮エリアブランド向上事業

元決算額	—	2 予算額	8,990千円	3 予算額	10,152千円
------	---	-------	---------	-------	----------

目標	目標値
新今宮エリアのブランドイメージ向上に繋がる新今宮エリアの魅力を5つ以上紹介する既存の民間情報誌又はWebページ等の掲載件数	3件以上
宿泊者、来街者へのアンケート、SNS上の口コミ分析により「新今宮エリアの良いイメージ」を回答・発信する割合	75%以上

今年度の取組内容

- 大阪ミナミの活性化をめざす民間事業者との連携のもと、大阪ミナミの新たな玄関口として「新今宮エリア」の歴史・文化・にぎわい等の魅力を発信し、「新今宮エリア」のブランディングを図る。
- 民間事業者及び本市(西成区・浪速区・経済戦略局)の連携による効果的な魅力発信
- エリアブランド確立に向けた戦略の推進・検証

めざす成果及び戦略 地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化
具体的取組2-1-3 西成区魅力発信事業

元決算額	1,731千円	2予算額	3,160千円	3予算額	2,310千円
------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
区のイベント等の参加者や区内の宿泊者等へのアンケートにより、区内の歴史的な名所などを知っていると感じた割合	50%以上

今年度の取組内容

来訪者に区内を周遊してもらえるよう、また、まちの魅力が十分に伝わっていない状況にあるため、区民に魅力を再認識してもらえるよう、マップやSNS等の様々な媒体を活用して、西成区の魅力積極的に発信していく。

- ・外国語版観光マップの作成
 中国語(繁体字):1,000部 韓国・朝鮮語:1,000部
- ・SNS発信回数 12回以上
- ・区内小中学校にて、大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業の実施
 (中学校:3校、小学校:5校)

めざす成果及び戦略 地域活動の支援強化

具体的取組2-2-1 地域コミュニティ支援事業(改革の柱4-1)

元決算額	61,549千円	2 予算額	64,515千円	3 予算額	62,992千円
------	----------	-------	----------	-------	----------

目標	目標値
本市の実施するアンケートにより、区の支援を受けた団体が支援に満足している割合	88%以上

今年度の取組内容

地域一丸となって、様々な事業や行事等に取り組めるよう、地域活動協議会を支援し、新たな人材確保と地域力の維持・向上をめざす。

- ・地域活動協議会補助事業の実施(全16地域)
- ・地域活動協議会の活動状況や自律の状況の把握、地域カルテ更新の支援など通じて地域活動協議会の課題を共有したうえで、地域の実状に即したきめ細やかな支援を行う。
- ・地域の自主財源の確保に向けた取組みとして、CB/SBの実施に向けた支援を行う。
- ・区ホームページやFacebookなどによる地域活動協議会に関する情報発信を行う。
- ・地域活動協議会における組織運営や、会計処理にかかる支援を行う。
- ・新たな担い手の確保、他のさまざまな活動主体との連携・協働にかかる支援を行う。
- ・地域課題やニーズの把握と解決に向けた支援(地域カルテの更新支援や地域資源の活用等)(研修会などの実施:年1回以上)
- ・市民活動にかかる支援ツール等の情報提供及びその活用にかかる支援(情報提供:年2回以上)

めざす成果及び戦略 地域活動の支援強化

具体的取組2-2-2 緑化推進事業

元決算額	1,484千円	2 予算額	1,674千円	3 予算額	1,674千円
------	---------	-------	---------	-------	---------

目標	目標値
区民モニターアンケートにおいて、「お住まいの地域での地域活動(地域で行われる催し物、事業等)に関心がある」と答えた区民の割合	30%以上

今年度の取組内容

地域活動への動機付けや地域コミュニティの再生を目的に、高齢者の生きがいつくりやつながりづくりとしての地域拠点・活動場所の創出、また地域資源の一つであるボランティアの参画・協働による地域活動として、緑化推進事業を実施する。また、地域活動に関わってみたいといった層へのアピールも実施していく。

- ・種から育てる地域の花づくり事業の実施 年2～3回地域へ出荷(年間約 50,000株)
- ・ボランティア意見交換会(年10回)
- ・ボランティア募集チラシの配布(イベント時及び花苗供給時等)
- ・花と緑の講習会の実施 年4回
- ・ボランティア養成講座の開催 年1回

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

具体的取組2-3-1 西成版サービスハブ構築・運営事業

元決算額	18,016千円	2 予算額	24,296千円	3 予算額	25,152千円
------	----------	-------	----------	-------	----------

目標	目標値
課題解決に向けた具体的事例の検討件数	120件

今年度の取組内容

- ・生活困窮者等が気軽に立ち寄ることができる場所を設置し、そこを居場所として提供(260日)するとともに、地域の福祉サービス提供者等と連携し、さらなる居場所を開拓していくことにより、支援へとつなげる。
- ・また、就労、福祉などの分野を超えて、困難な事例の解決を図ることができる支援員を配置(260日)して、生活訓練から就労支援まで、個々人に応じたマッチングを図ることなどにより、抱える課題の解決を図り、各々に応じた自立をめざしていく。
- ・さらに、日雇労働市場や地域の膨大な福祉需要等を地域の資源として活用して、(中間)就労やボランティア先等の開拓などを行い、支援の出口そのものを広げることにより、社会参加を促していく。

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

具体的取組2-3-2 西成区地域福祉計画推進事業

元決算額	1,089千円	2予算額	846千円	3予算額	844千円
------	---------	------	-------	------	-------

目標	目標値
推進チーム会議や各分野別検討会議等を定期開催し、3年間で取り組むべき地域福祉計画の4つの重点項目を中心に、令和3年度に取り組むべき項目を設定し、取組項目の達成度A(順調である)の割合	60%以上

今年度の取組内容

令和元年度から令和3年度までの3年間で取り組む西成区地域福祉計画に基づき、地域住民・区役所・区社会福祉協議会・社会福祉施設などで構成された推進チームや推進会議、高齢者、障がい者、子育て等の分野別検討会議等の開催を行うとともに、地域ネットワーク委員など地域活動の担い手の発掘・育成のため、地域での成功事例の共有や新たなつながりづくり、区民フォーラム開催などを通じて地域福祉を推進する。

令和4年度からの新たな地域福祉計画の策定に向けて議論する。

めざす成果及び戦略 地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

具体的取組2-3-3 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

元決算額	28,287千円	2予算額	30,294千円	3予算額	30,289千円
------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
見守りフォーラムなどの参加者に対するアンケートで地域における見守り活動に関わっていくことが必要だと感じている割合	75%以上

今年度の取組内容

区社会福祉協議会に「見守り相談室」を設置し、以下3つの機能を一体的に実施し、また、見守りフォーラムを開催(1回)するなど啓発活動を実施することにより、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの実現を図る。

- ①要援護者名簿(愛称「西成つながり名簿」)の地域への提供に係る同意確認・名簿整備を行い、地域の見守り活動を支援する。
- ②見守り支援ネットワークによる孤立世帯等への専門的対応
- ③認知症高齢者見守りネットワークによる認知症高齢者の行方不明時の保護強化(事前登録及び発見協力者登録の推進)
- ④西成つながり名簿を整備するための見守りサポーターを配置(モデル実施)

めざす成果及び戦略 人権尊重のまちづくり

具体的取組2-4-1 人権尊重のまちづくり

元決算額	2,000千円	2 予算額	2,000千円	3 予算額	2,000千円
------	---------	-------	---------	-------	---------

目標	目標値
人権を考える区民のつどい、人権講座のアンケートで「事業の内容に満足した」と回答した参加者の割合	70%以上

今年度の取組内容

参加者が人権にかかわる正しい理解と認識を深め、態度や行動へと結びつけられるような事業を展開するとともに、多様な機会を通じて人権に関する情報を発信する。

- ・人権を考える区民のつどい(2回)
- ・人権講座(3回)

めざす成果及び戦略 コミュニティ防災力の強化

具体的取組3-1-1 地域防災活動事業－地区防災計画を活用した地域防災力の向上－

元決算額	4,540千円	2 予算額	5,952千円	3 予算額	4,012千円
------	---------	-------	---------	-------	---------

目標	目標値
事業実施した地域へのアンケートにおいて「住んでいる地域特性に応じた、災害時の対応」が理解できたと回答した割合	90%以上

今年度の取組内容

各地域の地区防災計画に基づき地域ごとに防災訓練を実施する。災害時の避難行動、要支援者の支援、避難場所や避難所の運営ルールなどを確認・共有化することで、地域コミュニティにおける共助の意識の醸成を図り、地域防災力を高める。(令和3年度は10地域で実施)

めざす成果及び戦略 コミュニティ防災力の強化

具体的取組3-1-2 地域防災活動事業－地域防災の担い手の発掘・育成－

元決算額	3-1-1に含む	2予算額	3-1-1に含む	3予算額	3-1-1に含む
------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
受講者のうち、「地域の防災活動に積極的に関わっていこうと思う」と答える割合	90%以上

今年度の取組内容

地域防災リーダーと防災協力事業所が連携した講習会の実施や、地域と学校が連携した防災土曜授業を支援することで地域防災の新たな担い手の発掘・育成及び連携強化に取り組む。

対象：地域防災リーダー16地域、防災協力事業所44事業所（令和2年9月30日現在）、区内
小中学生及び高校生

- ・防災アドバンス講習会を2回実施
- ・地域と連携した防災土曜授業の実施（令和3年度は8校で実施）

めざす成果及び戦略 防犯・安全対策の推進

具体的取組3-2-1 防犯対策事業

元決算額	2,107千円	2予算額	2,545千円	3予算額	6,000千円
------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
令和2年の街頭における犯罪発生件数の減少	前年より減少させる (令和2年 705件)

今年度の取組内容

警察とより連携した防犯対策を推進するために所轄警察と締結した「西成区安全・安心なまちづくりに関する協定」に基づき、警察、区役所が一体となって、地域の安全・安心の取組を進める体制を構築する。また、子ども達の安全を見守り、地域の防犯活動を支援し、区民一人一人の防犯意識を高めるための各種キャンペーン等を地域、警察と協働し取り組む。

- ・防犯カメラ設置補助(8台)随時
- ・自主防犯活動支援(随時)
- ・青色防犯パトロールカー及び自転車による巡回(随時)
- ・遠足等の随行警備(随時)
- ・防犯啓発キャンペーンの実施(ひったくり防止カバー取付)
- ・特殊詐欺防止啓発活動
- ・小学校、幼稚園等での防犯教室の開催(随時)

めざす成果及び戦略 防犯・安全対策の推進

具体的取組3-2-2 自転車等安全利用啓発事業

元決算額	3,387千円	2 予算額	4,561千円	3 予算額	4,380千円
------	---------	-------	---------	-------	---------

目標	目標値
区民アンケート等により、交通ルール・マナーに関する意識が高まっていると回答する区民の割合	70%以上

今年度の取組内容

交通安全に関する意識を高めることにより、区民の交通ルールの遵守とマナーアップを図る。特に、自転車の安全利用の啓発及び区内主要駅における放置自転車問題に取り組む。

- ・交通安全区民大会実施(4・9月)
- ・交通安全運動等での啓発活動(随時)
- ・めいわく駐車・駐輪追放キャンペーン
- ・放置自転車啓発指導員の配置
- ・自転車対策連絡協議会による放置自転車合同啓発
- ・広報紙等への自転車特集

めざす成果及び戦略 空家等対策の推進

具体的取組3-3-1 空家等対策推進事業

元決算額	120千円	2 予算額	414千円	3 予算額	814千円
------	-------	-------	-------	-------	-------

目標	目標値
特定空家等の解体や補修等による是正件数	15件以上

今年度の取組内容

特定空家等の所有者調査を行う(新たに把握した物件全件)

- ・是正に向けた助言、指導の実施(所有者が判明した物件全件)
- ・広報紙、ホームページでの空家の適切な維持管理等に関する啓発の実施
(広報紙:1回、ホームページ:通年)
- ・空家の管理、活用に関するセミナーの開催(1回)
- ・権利関係の整理の重要性や除却補補助制度等の広報(専門家による不動産相談を毎月実施)

具体的取組4-1-1 不法投棄対策

元決算額	147,066千円	2 予算額	110,997千円	3 予算額	104,344千円
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------

目標	目標値
令和3年度の不法投棄ごみ量(収集量)の減少	前年度より減少させる (令和2年度 750t)

今年度の取組内容

- ・地域内における不法投棄を防止するための巡回活動を実施する。(年間364日)
- ・公園に設置した美化啓発拠点に持ち込まれる、家庭ごみを適正に処理するとともに、地域住民に対し家庭ごみの排出ルールの啓発を行う。(年間364日)

具体的取組4-1-2 迷惑駐輪対策

元決算額	4-1-1に含む	2予算額	4-1-1に含む	3予算額	4-1-1に含む
------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
地域内の路上駐輪台数の減少	前年度より減少させる (令和2年度 2,150台)

今年度の取組内容

- ・地域内に設置した、自転車置場の適切な管理、利用促進を図る。
- ・建設局と連携した対策を実施し、迷惑駐輪による交通障害の解消を図る。

めざす成果及び戦略 あいりん地域を中心とした結核対策

具体的取組4-2-1 結核患者の早期発見・早期治療

元決算額	18,526千円	2 予算額	20,454千円	3 予算額	20,873千円
------	----------	-------	----------	-------	----------

目標	目標値
あいりん地域の結核患者のうち、西成区実施の健診によって発見された方の割合	25%以上

今年度の取組内容

- ・あいりん地域内のアパートにおいて個別受診勧奨を実施することにより健診を強化する。
- ・あいりん地域内健診を月3回以上実施し、関係機関と連携して受診の徹底をはかる。
- ・あいりん地域住民に対して、生活保護担当者や介護支援者等と連携して定期受診を勧奨する。

めざす成果及び戦略 あいりん地域を中心とした結核対策

具体的取組4-2-2 結核患者の支援の充実

元決算額	29,865千円	2予算額	34,491千円	3予算額	33,804千円
------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
新登録肺結核患者の治療失敗・脱落中断割合	3%以下

今年度の取組内容

- ・あいりんDOTS(肺結核患者に対する服薬支援)を、患者の状況に応じて選択できるよう拠点型・訪問型を一体的に実施し、より確実な服薬支援を実施する。
- ・居所がない患者に対して、治療期間に限りあいりん地域内で居所を提供し、あいりんDOTSの実施により治療中断を防ぐ。
- ・あいりん地域以外の患者に対して、リスクアセスメントを実施したうえで適切な服薬支援を選択して治療完了へ導く。